

A 話すこと・聞くこと

この問題をチェック → ③二

出題の趣旨

目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる問題である。

〈指導事項〉

話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめること。（第5・6学年「A 話すこと・聞くこと」(1)エ）

結果状況と授業改善のポイント

本市の正答率 63%（全国 70.2%）、無解答 20.5%（全国 14.3%）ともに、全国を下回る結果であった。

本問題の解答類型では、正答のなかでも〈条件〉に示されている「寺田さんと山本さんの二人が、どのような思いでボランティアを続けているのかについて、分かったこと」について、「二人の思いをまとめている（◎解答類型1：本市 28.2%／全国 33.3%）」、「二人の思いを区別している（◎解答類型2：本市 6.4%／全国 7.2%）」、「どちらか一人の思いを中心にまとめている（○解答類型3：本市 28.4%／全国 29.8%）」という結果であった。「二人が…」という発問に対して、どちらか一人しか書いていない解答類型3（準正答）や、二人の思いにふれていない解答類型10（本市・全国ともに 8.3%：国立教育政策研究所の報告書では、自分の考えを書いてしまっている事例やインタビューの様子をそのまま書き写した事例が挙げられている）に注目すると、問いに対応した活動に取り組めていない児童の姿が浮かぶ。考えを即答するやりとりではなく、話し手の考えと自分の考えとの共通点や相違点を整理しながらじっくりと自分の考えを形成する過程を重視し、考えの広がりや深まりを実感できるような活動を工夫したい【個別最適な学び】。そのためには、分かったこと、気付いたこと、思いついたこと、考

えたこと等、情報を整理しながら、自分の考えをまとめる活動に取り組むことが重要である。

ワークシートの解説

インタビューの様子を踏まえて考えを整理しながらまとめる活動の場面を設定した。目的や意図に応じて情報を整理しながら考えを形成する過程に注目させて取り組ませたい。



学ぶときに注目

『伝わるように工夫して発表する』（四下 p.101）

〈発表を聞くとき〉

- ・予想したり、自分の経験とつなげたりしながら聞く。
- ・話の組み立てに気を付けて、伝えたいことは何かを考えながら聞く。

『考えを広げるために話し合う』（五上 p.117）

〈聞くとき〉

- ・意見と根拠がつながっているかを考えながら聞く。
- ・自分の意見と比べながら聞く。

指導改善の参考に！

〈教科書の関連教材〉

『知りたいことを決めて、話を聞こう』（五上 p.79-81）／『教えて！ あなたの「とっておき」』（六上 p.106-107）

『知りたいことを決めて、話を聞こう』

(教科書五上79ページから81ページ)

名前

高橋^{たかはし}さんの学級では、友達のちようせんを学級の人みんなにしようか
いするために、インタビューをすることにしました。次は、
『インタビューの様子』です。これをよく読んで、あとの問いに答
えましょう。

『インタビューの様子』

高橋 お二人は、最近、何かちようせんしたことはありますか。
秋山^{あきやま} ぼくは、家族のために夕食を一週間作りました。
木村^{きむら} わたしは、水泳の記録をのばすことにちようせんしました。
高橋 そうなのですね。大変だったのはどんなことですか。
秋山 ハンバーグにちようせんしたのですが、焼き加減^{げん}がむずかしくて、こ
がしてしまいました。
木村 わたしは、なかなか速く泳げるようにならなくて、なやみました。
高橋 大変だからちようせんをやめたいとは思わなかったのですか。
秋山 たしかに、あきらめそうになりましたが、時間を計りながら、ガスコ
ン口の火を調節するようにしたら、次からはおいしくできました。失敗
は成功のもとです。
高橋 木村さんは、どうですか。
木村 わたしもくじけそうになりましたが、友達に相談して、アドバイスを
もらいました。ちようせんするときには、周りの力を借りることも大事
だなと感じました。
高橋 なるほど。はじめは、大変なことがあるとちようせんをやめてしまっ
たのではないかと考えましたが、

学級の人みんなに伝えたいです。ありがとうございました。

高橋さんは、秋山さんと木村さんのちようせんへの思い
や考えについて、分かったことを『インタビューの様子』の
で話そうとしています。あなたが高橋さんなら、どのよ
うに話しますか。次の条件^{じょうけん}に合わせて書きましょう。

〈条件〉

- 秋山さんと木村さんのちようせんへの思いや考えについて、分
かったことを書くこと。
- 『インタビューの様子』の、秋山さんと木村さんの発言の中から
言葉や文を取り上げて書くこと。
- 書き出しの言葉に続けて、四十字以上、六十字以内にまとめて
書くこと。なお、書き出しの言葉は、字数にはふくまない。

第6学年
ワークシート

『教えて！ あなたの「とっておき」』

(教科書六上106ページから107ページ)

名前

川上^{かわかみ}さんの学級では、友達の「ずっと続けていること」を学級の人々に紹介するために、インタビューをすることになりました。次は、「インタビューの様子」です。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

『インタビューの様子』

川上 中西^{なかにし}さんは野球、春田^{はるた}さんは書道が続けているそうですね。野球には勝ち負けがあったり、書道は作品への評価があったりして、大変ではありませんか。

中西 たしかに、野球は、勝ち負けがはっきりしているところが大変です。この間は町内の野球大会があり、三回戦で負けてしまいました。でも、達成感がありました。

春田 私も一か月前の書道コンクールで入賞できなかったのですが、自分としては満足しています。

川上 お二人とも思い通りの結果を残せなかったけれど、達成感や満足感があったのですね。もう少し詳しく聞かせてください。

中西 はい、負けたことはくやしかったです。でも、みんなで試合に全力で取り組めたことには達成感がありました。

春田 私も、入賞できなかったことは残念ですが、自分の力を出し切って作品を仕上げられことに満足しています。

中西 なるほど。はじめは、勝ち負けや作品への評価がある野球や書道が続けるのは大変なことばかりなのではないかと考えていましたが、

学級の人々に伝えたいです。ありがとうございました。

川上さんは、中西さんと春田さんの二人が、どのような思いで野球や書道が続けているのかについて、分かったことを『インタビューの様子』の□で話そうとしています。あなたが川上さんなら、どのように話しますか。次の条件に合わせて書きましょう。

〈条件〉

○ 中西さんと春田さんの二人が、どのような思いで野球や書道が続けているのかについて、分かったことを書くこと。

○ 『インタビューの様子』の、中西さんと春田さんの発言の中から言葉や文を取り上げて書くこと。

○ 書き出しの言葉に続けて、四十字以上、六十字以内にまとめて書くこと。なお、書き出しの言葉は、字数にはふくまない。

第5学年 解答について

インタビューをする場面で、秋山さんと木村さんの挑戦への思いや考えについて、分かったことをまとめることができるかどうかをみる問題である。友達の挑戦を学級の人々に紹介するという目的に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることが求められる。目的に応じて、情報を取捨選択しながら話の内容を整理し、自分の考えをまとめることが大切である。

〈解答例〉

○お二人が、「失敗は成功のもと」や「周りの力を借りることも大事」だと考えてちょうせんしたことが分かりました。(53字)

第6学年 解答について

インタビューをする場面で、中西さんと春田さんがどのような思いで野球や書道を続けているのかについて、分かったことをまとめることができるかどうかをみる問題である。友達の「ずっと続けていること」を学級で紹介するという目的に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることが求められる。目的に応じて、情報を取捨選択しながら話の内容を整理し、自分の考えをまとめることが大切である。

〈解答例〉

○大会で負けたり、入賞できなかつたりしても、達成感や満足感があるということが分かりました。(44字)

〈誤答例〉

▲秋山さんと木村さんが、上手いかわくてもよりよい方法を見つけようとがんばったことが分かりました。(48字)

* 秋山さんと木村さんの挑戦への思いや考えについて分かったことを書いているが、【インタビューの様子】の二人の発言の中から言葉や文を取り上げて書いていない事例。

▲大変だったときに、秋山さんは、時間を計って火を調節し、木村さんは、友達に相談したことが分かりました。(50字)

* 【インタビューの様子】の秋山さんと木村さんの発言の中から言葉や文を取り上げて書いているが、二人の挑戦への思いや考えについて、分かったことを書いていない事例。

〈誤答例〉

▲大変なことばかりなのではなく、全力で取り組めたことによる達成感を得られるということが分かりました。(49字)

* 中西さんがどのような思いで野球を続けているのかについて、分かったことを【インタビューの様子】の発言の中から言葉や文を取り上げて書いているが、春田さんの思いについては書いていない事例。

▲二人とも、野球や書道は、勝ち負けや作品への評価があり、大変だと感じていることが分かりました。(46字)

* 【インタビューの様子】の中西さんと春田さんの発言の中から言葉や文を取り上げて書いているが、二人がどのような思いで野球や書道を続けているのかについて、分かったことを書いていない事例。

小学校

B 書くこと

この問題をチェック → ① 二

出題の趣旨

図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる問題である。

〈指導事項〉

引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。(第5・6学年「B 書くこと」(1) エ)

結果状況と授業改善のポイント

本市の正答率は、24.8%(全国 26.7%)であり、全国と比べて同程度の課題のある結果となった。これまでに分かったこと(学校の米作りの問題点)と考え(問題点の解決方法)とを整理しながら書く活動の過程そのものが問われている。

誤答からは、全国同様、①「学校の米作りの問題点」について、条件①a「【川村さんの文章】」のグラフから分かること、条件①b「【カード④】」から分かること」のどちらかを満たしていない解答や、条件②「問題点の解決方法について、【カード⑤】をもとにして書いている」ことができていない解答のように、示された条件の一部しか満たしていない解答状況(解答類型3～8の合計:本市 57.3%/全国 58.4%)に着目したい。本調査で示されている条件は、教員から与えられた指示ではなく、学習者自身の言語活動の目的や意図に対応したものである。それらを踏まえ、どのような目的のもとに工夫して書く活動に取り組もうとしているか、見通しがもてる・見通しをもつ授業展開を工夫したい。

そのためには、自分の考えを友達に伝える際に、どのように工夫して自分の考えを伝えようとしたり考えをまとめたりしたか、児童一人一人にノートやワークシート等に簡単なメモを書かせ、それらのメモをもとに友達と言語活動を振り返りながら工夫した点や意図

【川村さんの文章】

学校の田んぼで取り組んだ米作りの問題点とその解決方法

今年の米作りでは、たくさんのお米をしょうかくすることができました。しょうかくまでに、いくつかの問題がありました。その中でも特に伝えたい問題点とその解決方法について説明します。

5月下旬に学校の田んぼになえを植えました。6月の終わりまで、週に1回、グループの3人で雑草取りを続けましたが、アザミに雑草が生えてきて、とてもこまりました。そこで、雑草の量について、農家の田んぼにくらべてみました。うきかんは7月1日から15日までです。

右のグラフは、その結果をもとにして作ったものです。

農家の田んぼと学校の田んぼの雑草の量

日	農家の田んぼの雑草の量 (kg)	学校の田んぼの雑草の量 (kg)
1日	1.0	2.0
5日	1.0	2.5
9日	1.0	3.0
13日	1.0	3.5
15日	1.0	4.0

1日がある日の雑草を取って同じ大きさの「A」枠に入れ、その雑草の量を量ります。

このようなことに取り組み、9月の下旬にお米をしょうかくすることができました。

二 川村さんは、選んだカードをもとに、次の「川村さんの文章」の問題点とその解決方法について書こうとしています。あなたが川村さんなら、どの条件に合格できるでしょうか。おどの条件に合格しても構いません。

に学校の米作りのに入る内容を

について説明し合う等の活動を取り入れた【**個別最適な学び・協働的な学び**】。そのような活動を通して、工夫したことの効果を実感したり、友達の取り組みの工夫、良さを共有したりして、「書くこと」の言語活動の質を高めたい。

ワークシートの解説

単に考えを書いて答えさせるのではなく、目的や意図に応じて、複数の情報を結び付けながら考えをまとめて書く言語活動の過程に着目して取り組ませたい。



学ぶときに注目

『説得力をもたせて書く』(六下 p.37)

- 自分の意見を明確にして書く。
- 理由や根拠を示して、意見の説得力が増すように書く。(自分が経験したこと・調べたこと)
- 実際にあったこと(事実)と自分の考えとを区別して書く。
- 予想される反対意見と、それに対する反論を示す。

指導改善の参考に！

〈教科書の関連教材〉

『自分の考えを発信しよう』(六下 p.32-37)

『世界遺産 白神山地からの提言——意見文を書こう』(五下 p.6-19)

『提案文を書こう』(五下 p.74-79)

『世界遺産 白神山地からの提言』

(教科書五下6ページから19ページ)

名前

中西さんは、自然を守ることにについて意見文を書こうとしています。次は、中西さんが書いた【カード①】、【カード②】と【意見文の一部】です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【カード①】

「世界遺産についての考え方」
・世界遺産には、貴重な自然に直接ふれることで、自然保護の気運を高める役割がある

【カード②】

「自然を守るために重要なこと」
・自然と関わり、関心を深める
・直接ふれ合えば、自然の大切さに気付く

【意見文の一部】

ぼくは、自然を守るために重要なことは何かを考えたい。そのために、白神山地を例に取り上げる。白神山地は、一九九三（平成五）年に、中心の部分が世界遺産に登録された。ところが、二〇一〇（平成二十二）年には入山者がテントの設営場所を確保するためにブナの木を違法に伐採するという事件が起きている。こういった事件から、人を入れることはよくない、規制をもつときびしくして自然を守るべきだという考え方もあるだろう。

白神山地の観光名所をおとずれた
観光客数の変化

教科書五下 p 13 のグラフ
を見ましょう

ここで、次のグラフを参考にしたい。

以上にもとづいて、ぼくは、これからも自然を守るために何ができるかを考えていきたい。

中西さんは、カードをもとに、「意見文の一部」の[]に白神山地の一部の地域で入山を規制しない理由と、自然を守るために重要なことについて書こうとしています。あなたが中西さんなら、[]に入る内容をどのように書きますか。次の条件に合わせて書きましょう。

〈条件〉

- 白神山地の一部の地域で入山を規制しない理由については、【意見文の一部】のグラフ（白神山地の観光名所をおとずれた観光客数の変化）と【カード①】のそれぞれから分かることを書くこと。
- 自然を守るために重要なことについては、【カード②】をもとにして書くこと。
- 六十字以上、百字以内にまとめて書くこと。

第6学年
ワークシート

『自分の考えを発信しよう』

(教科書六下32ページから37ページ)

名前

夏川^{なつかわ}さんは、中学生になるにあたって、インターネットの利
用について意見文を書こうとしています。次は、夏川さんが書
いた【カード①】から【カード②】と【意見文の一部】です。これら
をよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【カード①】

- 「中学生から聞いた「発信するとき」に起きる問題」
- ・自分の言葉で友達を傷^{きず}つけてしまう
 - ・言葉が足りず、友達との間で行きがちがいが生じる

【カード②】

「解決方法」

- ・自分が書いた文章を読み直す
- ・自分の文章を相手がどう受け止めるかをよく考える

【意見文の一部】

インターネットは、私たちの生活に欠かせないものになっている。(序論^{ふろん}が続く)
(本論)しかし、インターネットには注意しなければならないこともある。そ
れは、正しくない情報がのつていたり、相手が見えないために、トラブルに巻き
こまれたりする可能性があることだ。

そこで、私はインターネットを使う際のルールを、「利用するとき」と「発信
するとき」に分けて考えてみた。「利用するとき」には、インターネットにのつ

ている情報をすぐに信じないようにすることだ。次に、「発信
するとき」については、下の表を参考にしたい。

これから、私たちが発信する側になる機会が増えることを
考えると、大変重要なことだといえるだろう。(意見文が続く)

●インターネットのコミュニ
ケーションでの利用率

小学生 (625人)	32.5%
中学生 (1051人)	67.2%

夏川さんは、カードをもとに、【意見文の一部】の に「発
信するとき」に起きる問題と解決方法について書こうとしていま
す。あなたが夏川さんなら、 に入る内容をどのように書き
ますか。次の条件に合わせて書きましょう。

〈条件〉

- 「発信するとき」に起きる問題については、【意見文の一部】の
表(インターネットの「コミュニケーションでの利用率」と【カー
ド①】のそれぞれから分かることを書くこと。
- 問題の解決方法については、【カード②】をもとにして書くこと。
- 六十字以上、百字以内にとめて書くこと。

第5学年 解答について

意見文を書く場面で、カードやグラフを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる問題である。**【カード①】**とグラフのそれぞれから分かる、白神山地の一部の地域で入山を規制しない理由と、**【カード②】**をもとにした、自然を守るために重要なことを書くことが求められる。意見文やカード、グラフといった複数の情報の関連を考え、情報と情報を結び付けながら、自分の考えをまとめることが大切である。

〈解答例〉

○グラフから分かるように、白神山地に毎年多くの人がおとずれているのは、自然に直接ふれることで自然保護の気運を高める役割が世界遺産にはあるからだ。自然を守るには、自然への関心を深めることが重要だ。(96字)

第6学年 解答について

意見文を書く場面で、カードや表を用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる問題である。**【カード①】**と表のそれぞれから分かる、「発信するとき」に起きる問題と、**【カード②】**をもとにした解決方法を書くことが求められる。意見文やカード、表といった複数の情報の関連を考え、情報と情報を結び付けながら、自分の考えをまとめることが大切である。

〈解答例〉

○中学生はインターネットのコミュニケーションでの利用率が高く、自分の言葉で友達を傷つけてしまうという問題が起きる。そこで、自分が書いた文章を読み直し、相手がどう受け止めるかをよく考えることが重要だ。(98字)

〈誤答例〉

▲中学生はインターネットのコミュニケーションでの利用率が高くなるため、自分の言葉で友達を

〈誤答例〉

▲白神山地には、世界遺産になって以降、毎年多くの人がおとずれていることがグラフから分かる。それは、世界遺産には、貴重な自然に直接ふれることで、自然保護の気運を高める役割があると考えられているからだ。(98字)

* **【カード②】**をもとにして書いていない事例。

▲平成五年に世界遺産になってから、白神山地には毎年多くの人がおとずれ続けている。その理由は、直接ふれ合えば、自然の大切さに気付くからだ。(67字)

* **【カード①】**から分かることを書いていない事例。

▲世界遺産には、貴重な自然に直接ふれて、自然保護の気運を高める役割があると考えられている。その考え方の通り、自然と直接ふれ合えば、自然の大切さに気付くはずなので、自然と関わり、関心を深めることが重要だ。(100字)

* グラフから分かることを書いていない事例。

傷つけてしまったり、言葉が足りず、友達との間で行きちがいが生じたりといった問題が起きる。(87字)

* **【カード②】**をもとにして書いていない事例。

▲中学生になると、小学生の時よりもコミュニケーションでインターネットを利用する人の割合が増えるので、自分が書いた文章を読み直したり、相手がどう受け止めるかをよく考えたりすることが大事だ。(92字)

* **【カード①】**から分かることを書いていない事例。

▲インターネットで「発信するとき」には、言葉が足りず、友達との間で行きちがいが生じるという問題が起きる。そのため、自分が書いた文章を読み直し、相手がどう受け止めるかをよく考えるようにするとよい。(96字)

* 表から分かることを書いていない事例。

小学校

C 読むこと

この問題をチェック → ② 四

出題の趣旨

文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる問題である。

〈指導事項〉

「文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること」(第5・6学年「C 読むこと」(1)オ)

結果状況と授業改善のポイント

本市の正答率 54.1% (全国 56.2%)、無解答率 10.9% (全国 8.5%) とともに、全国を下回る結果であった。

誤答のなかでも、〈条件②〉「分かったことをもとに、これから自分ができそうなことを書くこと」は満たしているが、〈条件①〉「資料を読んで、運動と食事の両方について分かったことを書くこと」については、全国同様、「運動について分かったこと」か「食事について分かったこと」のどちらかしか書いていない解答が多い結果であった(「運動について分かったこと」のみ(解答類型4:本市 10% / 全国 10.2%)、「食事について分かったこと」のみ(解答類型5:本市 10.5% / 全国 12.1%))。「運動と食事の両方について分かったことを書くこと」というようなやや複雑な〈条件〉の一部しか満たしていない解答状況に注目すると、〈条件〉そのものを読んでいないというよりは、その問いのリード文にだけ着目して、言語活動の目的や意図、展開について理解・把握できていない状況が考えられる。本問は、健康に過ごすことについて運動面から考えていた相田さんが、食事の面から健康について考えている友達の話聞いて【資料3】に興味をもち、自分の考えを整理するのに必要な情報を整理している場面の問いである。本問のように複数の資料を読

四
相田さんは、「資料1」「資料2」「資料3」を読み、運動と食事について分かったことをもとに、これから自分ができそうなことを考えてまとめるようにしています。あなたなら、どのようにまとめますか。その内容を次の条件に合致させて書きましょう。

(条件)
○ 資料を読んで、運動と食事の両方について分かったことを書くこと。
○ 分かったことをもとに、これから自分ができそうなことを書くこと。
○ 八十字以上、百字以内(まとめて書くこと)。

んで自分の考えを支える事例や記述をチェックし、それらを関連付けながら自分の考えを整理する活動を取り入れたい【**▽個別最適な学び**】。目的に応じて複数の情報から必要な情報を取捨選択し、再構成しながら自分の考えを形成する過程を重視して「読むこと」の言語活動の質を高めたい。

ワークシートの解説

資料にふれながら漠然と自分の考えを述べさせるのではなく、本問同様、意図的に複数の資料から自分の考えを支える事例や記述を取り上げながら、自分の考えを整理する言語活動の過程に着目して取り組ませたい。



学ぶときに注目

『事例と解説』(五上 p.55)

- ・「事例」とは、筆者が取り上げた具体例。
- ・「解説」とは、その事例をもとに、筆者が伝えたいことを、分かりやすく説明したもの。

指導改善の参考に！

〈教科書の関連教材〉

『世界遺産 白神山地からの提言——意見文を書こう』(五下 p.6-19)

『「情報ノート」を作ろう』〈書くこと教材〉(五上 p.38-39)

『世界遺産 白神山地からの提言』

(教科書五下6ページから19ページ)

名前

中西^{なかにし}さんの学級では、自然を守るために、複数の文章を選んで読み、自分ができそうなことを考えてまとめることにしました。次は、【中西さんの考え】と、中西さんが知りたいことを調べるために選んだ【資料1】、【資料2】です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【中西さんの考え】

ぼくは、人との関わりの面から考えてみたい。人と自然がふれ合いながら、どのように自然を守るかな。

【資料1】世界遺産について書かれたパンフレットの1部

◇自然への関心と自然保護
自然保護^{はくご}のためには、人々に自然に関心をもってもらうことも重要です。たとえば、世界遺産^{いせき}地域には人が入れる部分が設けられています。それは、世界遺産が、自然をただ守るだけでなく、人々が自然の大切さを体験し、自然保護の気運を高める役割^{わく}も becoming いると考えられているためです。

◇自然について関心を深める方法の例

- ・直接、自然とふれ合う
- ・自然保護について本などで調べる

【資料2】観光についてのパンフレットの1部

◇観光ガイドの方へのインタビュー
「自然のなかで観光客のガイドをするときは、お客さんの目の前で小さなごみを拾うこともします。自然をよごさないよう、自然とのつきあい方のお手本を示したり、自分ができることから取り組んだりすることもガイドの役割の一つです。」

中西さんは、【資料1】、【資料2】を読み、世界遺産と観光ガイドの方の取り組みについて分かったことをもとに、これから自分ができそうなことを考えてまとめようとしています。あなたなら、どのようにまとめますか。その内容を次の条件^{じょうけん}に合わせて書きましょう。

〈条件〉

- 【資料1】、【資料2】の両方について分かったことを書くこと。
- 分かったことをもとに、これから自分ができそうなことを考えて書くこと。
- 八十字以上、百字以内にまとめて書くこと。

第6学年
ワークシート

『パンフレットで知らせよう』

(教科書六上72ページから75ページ)

名前

木村さんの学級では、災害から身を守るために、複数の文章を選んで読み、自分ができそうなことを考えてまとめることにしました。次は、『木村さんの考え』と、木村さんが知りたいことを調べるために選んだ『資料1』、『資料2』です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【木村さんの考え】

ぼくは、情報の面から考えてみたい。情報に関して災害から身を守るためにどんなことができるかな。

【資料1】災害にまつわる過去の体験談

紀伊国^{きいのくに}有田郡^{ありだぐん}広村^{ひろむら}に生まれた濱口^{はまぐち}梧陵^{りやう}が35歳の時、ふるさとの広村を大地震と津波^{つな}がおそいました。たまたま帰郷^{ききやう}していた梧陵は、自分の田んぼ^{いなか}の稲^{いね}むらを燃やして目印とし、村人たちを安全な場所へと避難^{ひなん}させたのです。この話は、あらかじめ危険な場所の情報を知り、津波のときには高い所へ避難することが大切だと、私たちに教えてくれます。

【資料2】設備の情報に関する防災アンケート結果

質問1 あなたはこの町に過去の津波の高さを示す標識があるという情報を知っていますか？

はい 7人 いいえ 28人

質問2 (質問1で「はい」と回答した方) 標識が示す過去の津波の高さが何メートルかを答えられますか？

はい 2人 いいえ 5人

〈課題〉防災に関わる設備の情報を広く知らせる必要がある。

木村さんは、『資料1』、『資料2』を読み、体験談と設備の情報について分かったことをもとに、これから自分ができそうなことを考えてまとめようとしています。あなたなら、どのようにまとめますか。その内容を次の条件に合わせて書きましょう。

〈条件〉

- 資料を読んで、体験談と設備の情報の両方について分かったことを書くこと。
- 分かったことをもとに、これから自分ができそうなことを考えて書くこと。
- 八十字以上、百字以内にまとめて書くこと。

第5学年 解答について

自然を守るために、複数の文章を読み、自分ができそうなことを考えてまとめる場面で、文章を読んで理解したことにもとづいて、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる問題である。目的に応じて、複数の文章の内容を理解し、情報と情報の関連を考えながら、自分の考えをまとめることが求められる。これから自分ができそうなことを考えてまとめるという目的を意識して文章を読み返し、目的と関係のある表現に印をつけたり、自分の考えをメモしたりしながら取り組むと、自分の考えをまとめやすいだろう。

〈解答例〉

○自然を守るためには、自然の大切さを体験したり、自然との付き合い方を学んだりすることが大切だと分かりました。わたしは、これから自然とふれ合う機会を増やして、自然についてもっと知ろうと思います。(95字)

〈誤答例〉

▲自然保護のためには、世界遺産の考え方のよう

に、人々に自然にふれて関心をもってもらうことが重要だということが分かりました。自分ができることから取り組むことも大切だと思います。(86字)

* 分かったことをもとに、これから自分ができそうなことを書いていない事例。

▲観光ガイドの方は、自然との付き合い方のお手本を示したり、自分ができることから取り組んだりしていることが分かりました。わたしも、自然との付き合い方が上手な人から自然をよごさない方法を学びたいです。(97字)

* 【資料1】から分かったことを書いていない事例。

▲世界遺産が、人々が自然の大切さを体験し、自然保護の気運を高める役割もになっていることを知りました。わたしも、自然保護について本などで調べて、自然に関心をもちたいと思います。(86字)

* 【資料2】から分かったことを書いていない事例。

第6学年 解答について

災害から身を守るために、複数の文章を読み、自分ができそうなことを考えてまとめる場面で、文章を読んで理解したことにもとづいて、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる問題である。目的に応じて、複数の文章の内容を理解し、情報と情報の関連を考えながら、自分の考えをまとめることが求められる。これから自分ができそうなことを考えてまとめるという目的を意識して文章を読み返し、目的と関係のある表現に印をつけたり、自分の考えをメモしたりしながら取り組むと、自分の考えをまとめやすいだろう。

〈解答例〉

○災害から身を守るためには、危険な場所や防災に関わる設備についての情報を知っておくことが大切だと分かりました。わたしは、市役所などで、自分の町の危険な場所や防災のための設備の情報を集めようと思います。(99字)

〈誤答例〉

▲あらかじめ危険な場所の情報を知り、安全な場所へ避難することが大切だということが分かりました。また、防災に関わる設備の情報を広く知らせる必要性についても知りました。(81字)

* 分かったことをもとに、これから自分ができそうなことを書いていない事例。

▲災害から身を守るために重要なことは、防災に関わる設備の情報を広く知らせることだと分かりました。わたしも、インターネットで市のホームページなどを見て、防災情報を調べようと思います。(89字)

* 【資料1】から分かったことを書いていない事例。

▲災害にまつわる過去の体験談から、あらかじめ危険な場所の情報を知り、津波のときには高い所へ避難することが大切だと学びました。わたしも、危険な場所や避難場所について、家族に聞いておこうと思います。(96字)

* 【資料2】から分かったことを書いていない事例。

小学校

知識及び技能

この問題をチェック

- 漢字：①三 (1) ア・ウ、(2) イ
→情報：①一、②三 →言葉遣い：③三

出題の趣旨

■漢字

- ①三 (1) ア・ウ：学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる問題である。

〈指導事項〉

第5・6学年「知識及び技能」(1)エ…漢字

- ①三 (2) イ：送り仮名に注意して、漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる問題である。

〈指導事項〉

第5・6学年「知識及び技能」(1)ウ…話し言葉と書き言葉

■情報

- ①一：原因と結果など情報と情報との関係について理解しているかどうかをみる問題である。

〈指導事項〉

第5・6学年「知識及び技能」(2)ア…情報と情報との関係

- ②三：情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができるかどうかをみる問題である。

〈指導事項〉

第5・6学年「知識及び技能」(2)イ…情報の整理

■言葉遣い

日常よく使われる敬語を理解しているかどうかをみる問題である。

〈指導事項〉

第5・6年「知識及び技能」(1)キ…言葉遣い

結果状況と授業改善のポイント

■漢字

本市の正答率は、「以外」53.2%（全国52.8%）、「期間」65.1%（全国72.6%）、「漢字（送り仮名）」は、「比べて」90.4%（全国93.1%）

であり、漢字による正答率のばらつきがあった。本問のように言語活動の一場面、ノートや連絡帳など、児童の日常生活において用いられる漢字を正しく書けているか確認したい。

■情報

本市の正答率は、「原因と結果など情報と情報との関係」64%（全国64.7%）、「情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方」62.1%（全国62%）であり、全国とほぼ同じであった。②三のような書き込みメモは、児童の思考過程を可視化し、言語活動の質を高めることにつながる。

■言葉遣い

本市の正答率は、54.5%（全国57.6%）で、全国の正答率を大きく下回る結果であった。身近な先生をはじめ、栄養士の先生、通学路の見守りサポーターなど、学校に関わるさまざまな立場の方々とのやりとりにおける児童の言葉を振り返る機会をつくり、適切な敬語の使い方について考えさせたい。

ワークシートの解説

ノートや資料への児童の書き込みの意図、目的を問う設定にした。考えの形成過程を重視したい。

指導改善の参考に！

〈教科書の関連教材〉

■漢字

『漢字の広場①漢字学習ノート』（五上 p.40-41）
各学年『〇年生で学んだ漢字①～⑥』

■情報

『図に表して考えよう』（六上 p.18-20）

■言葉遣い

『敬語』（五上 p.72-75）

『敬意を表す言い方』（六下 p.68-71）

ワークシートの解説

- 1 2
- 2 4
- 3 ア「関心」／イ「複数」／ウ「快い」

情報／敬語／漢字

名前

町とのつながり			課題		よいところ			大蔵大根
町の人売り出しを 楽しみにしている。	地場野菜として有名。	地名がついている。	生産量が減っている。	ほかにも大根はある。	調理しやすく味が よくしみる。	形は先まで同じ太さ。	味はおいしい。	
生産量が減っているから、 よけいに楽しみ になるのかも しれない。			食べ比べたら、 おいしさが わかる。		気づいたこと			とくちよう

1 夏川さんは、「町じまん」で「大蔵大根」をすいせんしたい
と考え、とくちようを次の表に整理しました。その際に、「課
題（生産者が減っている。）」と「町のつながり（町の人か
売り出しを楽しみにしている。）」に◎のような関係があること
に気づきました。関係の説明として最も適切なものを、あ
との1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きま
しう。

- 1 部分と全体
- 2 結果と原因
- 3 目標と計画
- 4 考えと事例

2 木村さんは学習をふりかえり、敬語の使い方について、
ノートにまとめています。次のアとイに
入る内容の組み合わせとして最も適切なものを、あとの
1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きま
しう。

家族の知り合いから電話があったが、不在であることを伝えるとき

ア は、まだ買い物から イ 。

- 1 ア お母さん イ お帰りになっていません
- 2 ア 母 イ お帰りになっていません
- 3 ア お母さん イ 帰っておりません
- 4 ア 母 イ 帰っておりません

3 次の——部アからウを漢字でていねいに書きましよう。
ウは送りがなもふくめて書きましよう。

姉は、熱帯魚にかんしんがある。 ア

ふくすうの意見が出される。 イ

ころよい風がふいてきた。 ウ

中学校

A 話すこと・聞くこと

この問題をチェック → ① 四

出題の趣旨

聞き取ったことをもとに、目的に沿って自分の考えをまとめることができるかどうかをみる問題である。

〈指導事項〉

「必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などを踏まえて、自分の考えをまとめること。」(第1学年「A 話すこと・聞くこと」(1)エ)

結果状況と授業改善のポイント

本設問の本市の正答率は、78.3% (全国 82.5%) であり、全国よりも低い結果となった。ただし、正答率が8割弱であることから、ある程度定着していると捉えることもできる。

誤答の多くは、〈条件1〉「【インタビューの様子】」から話の内容を具体的に挙げて書いているものの、〈条件2〉「『社会で働く上で大切なこと』について、インタビューを通して自分がどのようなことを考えたのか分かるように」書くことができていない解答類型2 (5.7%)、条件に即していない解答類型99 (2.3%)、無解答 (13.2%) である。これらの解答は、本問のリード文「南さんは、インタビューを通して自分が考えた『社会で働く上で大切なこと』を星野さんに伝えてインタビューを終えようとしています」という言語活動の目的や意図を踏まえていなかったり、星野さんの考えと自分の考えとを混同して自分の考えのように解答してしまったりしていることなどが考えられる。インタビューや話し合い活動においては、その活動の目的や意図を常に意識しながら、事実や他の人の考え、自分の考えなどを整理して取り組み、考えを形成する過程を重視したい【個別最適な学び・協働的な学び】。

四 「インタビューの様子」の□で南さんは、インタビューを通して自分が考えた「社会で働く上で大切なこと」を星野さんに伝えてインタビューを終えようとしています。あなたなら、どのように話しますか。次の条件1と条件2にしたがって書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

条件1 「インタビューの様子」から、星野さんの話の内容を具体的に挙げて書くこと。

条件2 条件1で取り上げた内容を踏まえ、「社会で働く上で大切なこと」についてあなたが考えたことを書くこと。

ワークシートの解説

ただ自分の考えを話すのではなく、聞き取った内容を整理しながら目的に応じて自分の考えをまとめる場面を設定した。



学ぶときに注目

『相違点を明確にして聞くー比較するー』(2年 p.207)

相手の話を聞く際には、論理の展開に注意することや、筋道の通った話の進め方がされているかに注意しながら聞くことが大切です。同じ考えでも異なる根拠を用いていたたり、異なる考えでも同じ根拠を用いていたたりする場合があるので、自分の考えと比較しながら聞きましょう。

指導改善の参考に！

〈教科書の関連教材〉

『質問する力をつける』(2年 p.19)

『相違点を明確にして聞く』(2年 p.207-209)

『一言でまとめ一言から広げる』(3年 p.29)

『意見を共有しながら話し合う』(3年 p.235-237)

『よりよい結論を導く討論をする』

(教科書二年23ページから25ページ)

名前

フユさんは、総合的な学習の時間に、「Aーを活用する上で大切なことを考える」という学習に取り組んでいます。フユさんたちのグループは、「書店へのAーの導入」についての話し合いを通じて、考えを深めようとしています。次の【話し合いの様子】をよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【話し合いの様子】

フユ 今日、「Aーを活用する上で大切なこと」を考えるために、「書店へのAーの導入」について話し合ってみましょう。それでは、意見がある人は発言してください。

ハル はい。私は、書店にAーを導入することを提案します。Aーの導入により、本の整理や内容紹介、取り扱う商品の検索など、業務効率が大幅に上がるのではないのでしょうか。さらに、人件費の削減も期待できます。

フユ ありがとうございます。提案者に対して、質問や意見はありますか。

アキ 私も、Aーを導入することで人件費が削減できるのはよいと思います。しかし、何かトラブルがあったときにはどうなるのでしょうか。

ナツ 確かに、業務効率は上がると思います。しかし、書店員さんのおすめを、生の声で聞くほうがいいのではないのでしょうか。全ての業務をAーに任せるとは、コミュニケーションや臨機応変な対応が求められる部分は書店員さんが行うなど、仕事をバランスよく分けてAーを活用していくことが必要なのではないでしょうか。(中略)

フユ

話し合いを通じて、それぞれ「Aーを活用する上で大切なこと」について、考えが深まったと思います。

では、これで話し合いを終わります。

【話し合いの様子】の

でフユさんは、話し合いを通して自分が考えた「Aーを活用する上で大切なこと」を話そうとしています。あなたなら、どのように話しますか。次の条件1と条件2にしたがって書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

条件1 【話し合いの様子】から、話の内容を具体的に取り上げて書くこと。

条件2 条件1で取り上げた内容を踏まえ、「Aーを活用する上で大切なこと」についてあなたが考えたことを書くこと。

『意見を共有しながら話し合う』

(教科書三年235ページから237ページ)

名前

アキさんは、総合的な学習の時間に、「持続可能な社会の実現に向けて私たちができることを考える」という学習に取り組んでいます。アキさんたちは、グループでの話し合いを通じて考えを深めようとしています。次の【話し合いの様子】をよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【話し合いの様子】

アキ 今日、「持続可能な社会の実現に向けて私たちができること」について話し合ってみましょう。それでは、意見がある人は発言してください。

ナツ 私が考えたのは、フードマイレージです。フードマイレージは、「食べ物

物の重さ×運ばれた距離^{きより}」で計算します。その数値は、食料輸送にかかる二酸化炭素の量に比例します。そのため、二酸化炭素をあまり出さないように、地元や国内でとれたものを率先して食べようとする試みです。一人一人が意識すれば、誰にでもできることだと思います。

フユ 私は、ナツさんの意見の「誰にでもできる」という部分に賛成です。他にも取り組まれていることとしては、マイバッグの持参などがあると思います。

ハル ナツさんの考えの「地産地消」で地域も活性化するいいですね。ところで、マイバッグを持っていない場合には、どうしたらよいでしょうか。

ナツ そうそう、いざというときに手元にマイバッグがないこともありますよね。マイバッグ持参の取り組みはどれくらい広がっているのでしょうか。

(中略)

アキ 話し合いを通じて、それぞれ「持続可能な社会の実現に向けて私たちができること」について、考えが深まったと思います。

では、これで話し合いを終わります。

【話し合いの様子】の でアキさんは、話し合いを通して

自分が考えた「持続可能な社会の実現に向けて私たちができること」を話そうとしています。あなたなら、どのように話しますか。次の条件1と条件2にしたがって書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

条件1 【話し合いの様子】から、話の内容を具体的に取上げて書くこと。

条件2 条件1で取り上げた内容を踏まえ、「持続可能な社会の実現に向けて私たちができること」についてあなたが考えたことを書くこと。

第2学年 解答について

総合的な学習の時間において、話し合いをする場面で、目的に応じて自分の考えをまとめることができるかどうかをみる問題である。聞き取ったことをもとに、「A Iを活用する上で大切なことを考える」という目的に沿って自分の考えをまとめることが求められる。目的に応じて、情報を取捨選択しながら話の内容を整理し、自分の考えをまとめることが大切である。

〈解答例〉

○A Iを活用する上では、仕事をバランスよく分けることが大切だと分かりました。私も全ての業務をA Iに任せるのではなく、コミュニケーションや臨機応変な対応が求められる部分は人の力で対応したいと思いました。

第3学年 解答について

総合的な学習の時間において、話し合いをする場面で、目的に応じて自分の考えをまとめることができるかどうかをみる問題である。聞き取ったことをもとに、「持続可能な社会の実現に向けて私たちができることを考える」という目的に沿って自分の考えをまとめることが求められる。目的に応じて、情報を取捨選択しながら話の内容を整理し、自分の考えをまとめることが大切である。

〈解答例〉

○持続可能な社会を実現するためには、フードマイレージやエコバッグなど、一人一人が意識すれば、誰にでもできることから取り組むことが大切だと分かりました。私も、毎日少しずつできることは何かを考えたいと思いました。

〈誤答例〉

▲話し合いから、A Iの導入により、業務効率が大幅に上がり、人件費の削減も期待できることが分かりました。

*【話し合いの様子】から、話の内容を具体的にに取り上げて書くことはできているが、「A Iを活用する上で大切なこと」について自分が考えたことを書くことができていない事例。

▲私は、A Iを活用する上で大切なことは、A Iに頼りきりになってはいけないということだと思います。

*「A Iを活用する上で大切なこと」について自分が考えたことを書くことはできているが、【話し合いの様子】から、話の内容を具体的にに取り上げて書くことができていない事例。

〈誤答例〉

▲話し合いから、フードマイレージやエコバッグなどの取り組みがあることが分かりました。

*【話し合いの様子】から、話の内容を具体的にに取り上げて書くことはできているが、「持続可能な社会の実現に向けて私たちができること」について自分が考えたことを書くことができていない事例。

▲私は、ペットボトルを購入する回数を減らし、できるだけ水筒を持ち歩くことが、持続可能な社会の実現に役立つのではないかと思います。

*「持続可能な社会の実現に向けて私たちができること」について自分が考えたことを書くことはできているが、【話し合いの様子】から、話の内容を具体的にに取り上げて書くことができていない事例。

中学校

B 書くこと

この問題をチェック ➡ ③ ④

出題の趣旨

自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことができるかどうかをみる問題である。

〈指導事項〉

「根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫すること。」(第1学年「B書くこと」(1)ウ)

結果状況と授業改善のポイント

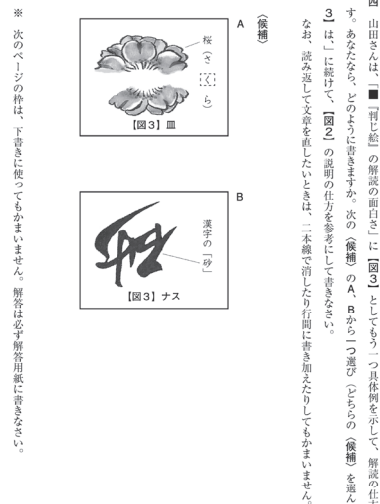
本設問の本市の正答率は、73.7%で、全国
の正答率(72.1%)を上回る結果となった。

誤答については、選んだ判じ絵について、
【図2】の説明の仕方を参考にして読解の仕
方を書いていない解答類型2(10.9%)に注
目したい。国立教育政策研究所の報告書で示
されている誤答事例「……描かれているもの
を組み合わせると「○○」という意
味になる」のような、選んだ判じ絵の具体的
なところにふれずに説明の仕方の形式だけを
そのまま取り入れて書いてしまった事例や、
理由を説明せずに解答してしまった事例な
ど、根拠を明確にしながら自分の考えを書く
ことに課題がみられる。

説明や解説する文章を書く際には、書いた
文章を友達と読み合い、「～ので」「～から」
といった理由や考えを支える根拠が適切かど
うか、互いに指摘し合う場を設定し、自分の
考えがしっかりと相手に伝わっているかど
うかを確認することが大切である【協働的な
学び】。

ワークシートの解説

自分の考えを相手に伝えるために根拠を明確に
して伝える場面を設定した。根拠を明確にす
ることにより考えが焦点化されたり、立場が明確に
なったりする効果を実感させたい。



学ぶときに注目

『表現に役立つ言葉－自分の考えを書く活
動－』(付録)

- ☐ ……と関連することは…… (関係づける)
- ☐ 例えば…… (事例をあげる)
- ☐ このことから……ということがいえます
(定義する)
- ☐ なぜなら…… (だ) からです (理由をあ
げる)
- ☐ ……のように考えれば、……といえるは
ずです (推論する)
- ☐ よって……が必要なのです (解決を見通
す)
- ☐ ……と比べると、……がわかります (比
較する)

指導改善の参考に！

〈教科書の関連教材〉

『資料から得た根拠をもとに意見文を書く』(1年
p.41-43)

『根拠を明確にして意見文を書く』(1年 p.99-101)

『根拠をもとに意見文を書く』(2年 p.115-117)

『一言でまとめ一言で広げる』(3年 p.29)

『具体例をもとに説明文を書く』(3年 p.81-83)

『根拠をもとに意見文を書く』

(教科書二年115ページから117ページ)

名前

田中^{たなか}さんは、国語の時間に、「森林の保護」というテーマで、意見文とそこでの表現の工夫の説明を書くことになりました。次は、文書作成ソフトを使って田中さんが書いた【意見文の下書き】と、【表現の工夫の説明】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【意見文の下書き】

■はじめに

現在、森林が減少している。「世界森林資源評価」によると、世界の森林面積は1990年の41.28億ヘクタールから、2015年には39.99億ヘクタールに減少した。このような森林の減少を食い止めるために私たちには何ができるのか。その一つが割り箸を使うことをやめることだと思う。

■割り箸の節約による森林保護

(ア) 割り箸を作るために多くの木が伐採^{ばっ}されている。日本では割り箸を使う習慣があり、「地球温暖化白書」によれば、現在、日本国内では年間250億膳^{ぜん}(木造住宅2万軒分)もの割り箸が使い捨てられているとのことだ。これを節約するだけでも、森林の減少はかなり食い止められる。

■割り箸による森林整備

(イ) 木の伐採には、間伐^{かんぱく}といって、森林を整備して健康な状態に保ち、豊かな森を存続させる役割もある。そこで、国内産の間伐材で割り箸を生産すれば、森林の整備を進めながら、森林減少を食い止めることができるはずだと考えた。

■おわりに

以上のことから、割り箸の使用を全てやめるのではなく、森林伐採につながる割り箸を使うのをやめることが大切だといえる。

【表現の工夫の説明】

私の意見文では、読みやすくなるように段落ごとに見出しを付けた。

段落(ア)では、割り箸を節約すると、森林の減少が食い止められるということを書いた。そのため、見出しは、「割り箸の節約」と「森林保護」という言葉を使つてまとめるとういと考えた。

段落(イ)では、

田中さんは、【表現の工夫の説明】の[]で、段落(イ)の見出しの付け方について説明しようとしています。あなたなら、どのように書きますか。「段落(イ)では、」に続けて、段落(ア)の説明の仕方を参考にして書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

『自己PR文を書く』

(教科書三年197ページから199ページ)

名前

はまの
浜野さんは、国語の時間に、学校生活で学んだことを自己PR文にまとめた上で、そこでの表現の工夫の説明を書くことになりました。次は、浜野さんが書いている自己PR文の『下書きの一部』と、『表現の工夫の説明』です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【下書きの一部】

私が学校生活を送る中で、大切にしてきたことは、「意見を聞くこと」と、「協力すること」だ。これは成果発表会実行委員の経験を通して学んだことである。

■「意見を聞くこと」の効果

(ア) まず、なぜ「意見を聞くこと」を大切にしてきたかというと、成果発表会の校内装飾を計画した経験から学びを得たからだ。初めは学校全体をレイアウトするという規模の大きさに不安になった。しかし委員会でさまざまな意見を出し合い、皆の意見を聞いて計画する中で、自分の思っていたものよりも、ずっと大きなものを作ることができた。

■「協力すること」の必要性

(イ) 次に「協力すること」について。私は最高学年になり、各組の発表順を指示する立場になった。私は全体をまとめて動かす責任の重さにとまどっていたのだが、そんな私を見て委員の皆が、私の作った表を見ながら声をかけ合い動いてくれた。物事を進めるためには周りの人の力が不可欠であることを改めて実感した。

「人の意見を聞くこと」と、「協力すること」の二つがあって、一つの大きなことが成し遂げられる。私は、高校に進学して委員会や部活動に参加するときも、この二つを大事にしていきたいと考えている。

【表現の工夫の説明】

私の自己PR文では、読みやすくなるように段落ごとに見出しを付けた。

段落(ア)では、皆の意見を聞いて計画したことで、自分の思っていたものよりも、大きなものを作ることができたということを書いた。そのため、見出しは、「意見を聞くこと」と「効果」という言葉を使つてまとめるとよいと考えた。

段落(イ)では

浜野さんは、『表現の工夫の説明』の[]で、段落(イ)の見出しの付け方について説明しようとしています。あなたなら、どのように書きますか。「段落(イ)では、」に続けて、段落(ア)の説明の仕方を参考にして書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

第2学年 解答について

意見文とその表現の工夫の説明を書く場面で、自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことができるかどうかをみる問題である。段落(イ)の見出しの付け方の説明を考え、「段落(イ)では、」に適切に続くように書くことが求められる。段落(ア)の表現の工夫の説明では、まず文章の内容を説明し、それを根拠として、その内容を端的に表す語句を文章中から探したり、自分で考えたりして、見出しとして使ったことを述べている。段落(イ)の説明でも、その説明の仕方を参考に、表現の工夫と、そのような工夫をした根拠との関係を明確にして書くことを意識させたい。

〈解答例〉

○(段落(イ)では、)国内産の間伐材で割り箸を生産すれば、森林の整備を進めながら、森林減少を食い止めることができるということを書いた。そのため、見出しは、「割り箸」と「森林

整備」という言葉を使ってまとめるとよいと考えた。

〈誤答例〉

▲(段落(イ)では、)国内産の間伐材で割り箸を生産すれば、森林の整備を進めながら、森林減少を食い止めることができるということを書いた。

▲(段落(イ)では、)見出しは、「割り箸」と「森林整備」という言葉を使ってまとめるとよいと考えた。

*「段落(イ)では、」に適切に続くように書くことはできているが、見出しの付け方の説明を書くことができていない事例。

▲(段落(イ)では、)国内産の間伐材で割り箸を生産すれば、森林の整備を進めながら、森林減少を食い止めることができる。見出しは、「割り箸」と「森林整備」という言葉を使ってまとめるとよい。

*「段落(イ)では、」に適切に続くように書くことができていない事例。

第3学年 解答について

自己PR文とその表現の工夫の説明を書く場面で、自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことができるかどうかをみる問題である。段落(イ)の見出しの付け方の説明を考え、「段落(イ)では、」に適切に続くように書くことが求められる。段落(ア)の表現の工夫の説明では、まず文章の内容を説明し、それを根拠として、その内容を端的に表す語句を文章中から探したり、自分で考えたりして、見出しとして使ったことを述べている。段落(イ)の説明でも、その説明の仕方を参考に、表現の工夫と、そのような工夫をした根拠との関係を明確にして書くことを意識させたい。

〈解答例〉

○(段落(イ)では、)物事を進めるためには周りの人の力が不可欠であることを実感したということを書いた。そのため、見出しは、「協力す

ること」と「必要性」という言葉を使ってまとめるとよいと考えた。

〈誤答例〉

▲(段落(イ)では、)物事を進めるためには周りの人の力が不可欠であることを実感したということを書いた。

▲(段落(イ)では、)見出しは、「協力すること」と「必要性」という言葉を使ってまとめるとよいと考えた。

*「段落(イ)では、」に適切に続くように書くことはできているが、見出しの付け方の説明を書くことができていない事例。

▲(段落(イ)では、)物事を進めるためには周りの人の力が不可欠である。見出しは、「協力すること」と「必要性」という言葉を使ってまとめるとよい。

*「段落(イ)では、」に適切に続くように書くことができていない事例。

中学校

C 読むこと

この問題をチェック → 4 三

出題の趣旨

文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができるかどうかをみる問題である。

〈指導事項〉

「文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えること。」(第1学年「C 読むこと」(1)エ)

結果状況と授業改善のポイント

本設問の本市の正答率は、51.2% (全国50%) であり、全国を上回る結果となった。

現代語訳について「どこがどのように工夫されているか」という問いに対し、資料の表現を取り上げずに、工夫されている点(自分の考え)だけを書いた解答類型3(16.2%)、資料の表現だけを取り上げて、どのように工夫されているか書いていない(自分の考えが示されていない)解答類型2(6.4%)に注目したい。このような解答状況の生徒は、普段の授業においても自分の考えや思いを十分に相手に伝えられていないことが考えられる。本問のように複数の資料を関連付けて自分の考えを伝え合う活動を設定し、自分の考えを分かりやすく相手に伝えるためには、考えを支える事例、根拠や理由を明確にして自分の考えを示すことが求められることを実感させたい【**協働的な学び**】。

本問の無解答率は、21.2%で、全国の無解答率(20.7%)と比べてやや高い。資料や友達の表現の工夫を見だし、その良さや効果を実感することは言語活動の質を高める重要な要素である。苦手な生徒には、良さや工夫を見つける観点を整理して提示し、取り組めよう促したい。

三
【学校図書館で見付けた「竹取物語」の一部】は、古典の作品である「竹取物語」に、作家の星新一が工夫を加えて現代語で書いたものです。どこがどのように工夫されていると考えられますか。【授業で読んだ「竹取物語」の一部】や【学校図書館で見付けた「竹取物語」の一部】の表現を取り上げて、あなたの考えを書きなさい。
なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

ワークシートの解説

教科書掲載の古典作品の現代語訳と友達の現代語訳について具体的な表現を取り上げ、根拠を明確にして考えをまとめる場面を設定した。



学ぶときに注目

『表現に役立つ言葉－意見を述べる活動－』
(付録)

- ☐……という観点から考えると……(課題を設定する)
- ☐……だとすれば、……と考えられます(推論する)
- ☐……ということから……といえます(定義する)
- ☐まとめると、……ということになります(総括する)
- ☐……という順序で考えると(順序づける)
- ☐しかし……ということが考えられます(予想する)

指導改善の参考に！

〈教科書の関連教材〉

『昔話と古典——箱に入った桃太郎——』(1年p.110-113)

『随筆の味わい―枕草子・徒然草―』

(教科書二年132ページから141ページ)

名前

まつだ 松田さんは、国語の時間に、「枕草子」を読みました。そのあと、あらい 友達の新井さんが考えた「枕草子」の現代語訳を見せてもらい、読み比べてみました。次は、【授業で読んだ「枕草子」の一部】の〈原文〉とその〈現代語訳〉、【新井さんがノートに訳した「枕草子」の一部】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【授業で読んだ「枕草子」の一部】

〈原文〉

うつくしきもの。瓜に描きたるちごの顔。雀の子の、ねず鳴きするに踊り来る。二つ三つばかりなるちごの、急ぎて這ひ来る道に、いと小さき塵のありけるを、目ざとに見つけて、いとをかしげなる指にとらへて、大人ごとに見せたる、いとうつくし。

〈現代語訳〉

かわいらしいもの。瓜に描いてある幼児の顔。雀の子が、(人が)ねずみの鳴きまねをすると、踊るようにしてやってくる様子。二、三歳くらいの幼児が、急いで這ってくる途中に、とても小さなごみがあったのを、目ざとく見つけて、大変愛らしげな指につまんで、大人たちに見せているのは、とてもかわいらしい。

【新井さんがノートに訳した「枕草子」の一部】

かわいらしいもの。瓜に描いてある幼児の顔。雀の子が(人が)チュツチュツとねずみの鳴きまねをすると、踊るようにしてやってくる様子。二、三歳くらいの幼児が、急いで這ってくる途中に、とても小さなごみがあったのを、目ざとく見つけて、大変愛らしげな指につまんで、「ねえ、見て見て」というように、大人たちに見せているのは、とてもかわいらしい。

【新井さんがノートに訳した「枕草子」の一部】は、古典の作品である「枕草子」に、新井さんが工夫を加えて現代語訳で書いたものです。どこがどのように工夫されていると考えられますか。【授業で読んだ「枕草子」の一部】や【新井さんがノートに訳した「枕草子」の一部】の表現を取り上げて、あなたの考えを書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

第3学年
ワークシート

『随筆の味わい―枕草子・徒然草―』

(教科書二年132ページから141ページ)

名前

川村^{かわむら}さんは、国語の時間に、「徒然草^{つれづれぐさ}」を読みました。そのあと、友達の上田^{うへだ}さんが考えた「徒然草」の現代語訳を見せてもらい、読み比べてみました。次は、【授業で読んだ「徒然草」の一部】の〈原文〉とその〈現代語訳〉、「上田さんがノートに訳した「徒然草」の一部」です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【授業で読んだ「徒然草」の一部】

〈原文〉

(省略) ある所にて夜更^{よふ}くるまで連歌^{れんか}して、ただ一人帰りけるに、小川の端^{はた}にて、音に聞きし猫^{ねこ}また、あやまたず足もとへふと寄り来て、やがてかきつくまに、首のほどを食はんとす。肝心^{きんころ}も失せて、防^ふがんとするに、力もなく、足も立たず、小川へ転び入りて、

「助けよや。猫また。よやよや。」

〈現代語訳〉

(法師が) ある所で夜が更けるまで連歌をして、ただ一人で帰ったところ、小川のほとりで、うわさに聞いた猫またが、狙いどおり足もとへすと寄って来て、いきなり飛びつくやいなや、首のあたりを食おうとする。(その法師は) 正気も失ったために、防ごうとするけれども、力も入らず、足も立たないで、小川へ転げ込んで、

「助けてくれ。猫まだだ。おういおうい。」

【上田さんがノートに訳した「徒然草」の一部】

(法師が) ある所で夜が更けるまで連歌をして、人気がなく真つ暗な道を、ただ一人で帰ったところ、小川のほとりで、うわさに聞いた猫またが、狙いどおり足もとへすと寄って来て、いきなりとぴよんと飛びつくやいなや、首のあたりを食おうとする。(その法師は) 正気も失ったために、防ごうとするけれども、力も入らず、足も立たないで、小川へ転げ込んで、

「助けてくれ。猫まだだ。おういおうい。」

【上田さんがノートに訳した「徒然草」の一部】は、古典の作品である「徒然草」に、上田さんが工夫を加えて現代語訳で書いたものです。どこがどのように工夫されていると考えられますか。【授業で読んだ「徒然草」の一部】や【上田さんがノートに訳した「徒然草」の一部】の表現を取り上げて、あなたの考えを書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

第2学年 解答について

「枕草子」の現代語訳について、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができるかどうかをみる問題である。

【新井さんがノートに訳した「枕草子」の一部】
のどこがどのように工夫されているのかという視点から文章を読み比べ、表現の違いを見つけたり、読み手を意識してその効果を考えたりすることが大切である。擬音語や台詞、比喩など、情景を描写する際に用いる表現技法の効果についてあらかじめ学習しておく、自分の言葉で説明しやすくなるだろう。

〈解答例〉

○「チュッチュッと」という音を具体的に書いて、どんな鳴き声かが分かるようにしている。

○「「ねえ、見て見て」というように」と付け加えることで、幼児がごみを見せる様子のかわいらしさを読者が想像できるようにしている。

〈誤答例〉

▲「チュッチュッと」と書いている。

▲「「ねえ、見て見て」というように」と、〈原文〉にはないことを書いている。

*具体的に表現を取り上げて書くことはできているが、表現の効果など、どのような工夫なのかを書くことができていない。

▲具体的な言葉を加えて、読み手が想像しやすくしている。

*どのように工夫されているのかを書くことはできているが、具体的な表現を取り上げて、どこが工夫されているのかを書くことができていない。

第3学年 解答について

「徒然草」の現代語訳について、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができるかどうかをみる問題である。

【上田さんがノートに訳した「徒然草」の一部】
のどこがどのように工夫されているのかという視点から文章を読み比べ、表現の違いを見つけたり、読み手を意識してその効果を考えたりすることが大切である。擬音語や台詞、比喩など、情景を描写する際に用いる表現技法の効果についてあらかじめ学習しておく、自分の言葉で説明しやすくなるだろう。

〈解答例〉

○「人氣がなく真っ暗な道を、」と付け加えることで、法師が一人で歩く道の様子を読者が想像

できるようにしている。

○「ぴょんと」という擬音語を用いて、猫またが身軽に飛びつく様子が伝わるようにしている。

〈誤答例〉

▲「人氣がなく真っ暗な道を、」と、〈原文〉にはないことを書いている。

▲「ぴょんと」と書いている。

*具体的に表現を取り上げて書くことはできているが、表現の効果など、どのような工夫なのかを書くことができていない。

▲具体的な言葉を加えて、読み手が想像しやすくしている。

*どのように工夫されているのかを書くことはできているが、具体的な表現を取り上げて、どこが工夫されているのかを書くことができていない。

中学校

知識及び技能

この問題をチェック

➡漢字：③ 二 ➡情報：③ 三

➡伝統的な言語文化：④ 一

出題の趣旨

■漢字

③二：文脈に即して漢字を正しく書くことができるかどうかをみる問題である。

〈指導事項〉

第2学年「知識及び技能」(1)ウ…漢字

■情報

③三：具体と抽象など情報と情報との関係について理解しているかどうかをみる問題である。

〈指導事項〉

第2学年「知識及び技能」(2)…情報と情報との関係

■伝統的な言語文化

④一：歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むことができるかどうかをみる問題である。

〈指導事項〉

第1学年「知識及び技能」(3)ア…伝統的な言語文化

結果状況と授業改善のポイント

■漢字・情報

「漢字」の本市の正答率は、「推（し量って）」45.8%（全国43.9%）、「情報」の本市の正答率は、63.4%（全国61.8%）であり、ともに全国を上回っている。

「情報の取扱いに関する事項」は、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」領域の言語活動のなかで自分の考えを整理する過程において重点的に取り上げたい。

■伝統的な言語文化

「伝統的な言語文化」の本市の正答率は、78.7%（全国82.5%）であり、全国を下回る結果であった。

ワークシートの解説

生徒が興味をもったことをまとめている場面において、文章を内容のまとまりで分け、見出しをつける状況を設定した。論理の構成、展開などに着目させたい。

指導改善の参考に！

〈教科書の関連教材〉

■漢字

各学年『漢字の練習』

『まちがえやすい漢字』（2年 p.40-41）

『漢字の多義性』（2年 p.190-191）

『同音の漢字』（2年 p.272-273）

『類義語・対義語・多義語・同音語』（2年 p.282-285）

『異字同訓』（3年 p.160-161）

■情報

『社会で求められる表現——具体的に伝える・分かりやすく伝える——』（2年 p.69）（「見出し」をつける）

『新聞が伝える情報を考える』（3年 p.64-67）（見出し・リード文・本文）

■伝統的な言語文化

『歴史的仮名遣い』（2年 p.131）

『歴史的仮名遣い』（3年 p.132）

ワークシートの解答

- 1 一 愚（かさ）／二 エ、狂言に登場する太郎冠者
- 2 おおえる

伝統文化／漢字／情報

名前

1 アキさんは、国語の時間に、伝統芸能である狂言きやうげんに関して興味をもったことをノートにまとめています。次は、アキさんが書いているノートの一部です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

「狂言」とは何か

狂言は、滑稽こっけいなせりふやしぐさを中心とする伝統芸能の一つで、室町時代むろまちに発達しました。(ア)今ある狂言の形は、江戸時代えどに確立きやうりつされました。江戸時代には、江戸で鷺流さぎと大蔵流おくら、名古屋なごやや金沢かなざわ・京都きょうとなどで和泉流いずみが盛んでした。現在では鷺流はありません。(イ)登場人物には、仕事を怠なまけたり人をだまそうとしたりする人もありますが、大きな悪事をはたらく人はいません。(ウ)人間のおろかさや弱さをおおらかな笑いで包みこむ狂言は、現代でも多くの人に愛されています。(エ)狂言には、太郎冠者たろうかじやが登場する作品が数多くあります。太郎冠者というのは固有名詞ではなく、「筆頭たうとうの(＝太郎)若い従者(＝冠者)」という意味の役名です。(オ)調子がよくて小ずるいところもあり、主人に反抗はんかうしたりうそをついたりしますが、徹底的てつてきに対立することはなく、二人の間に心の通い合いが感じられます。いわば庶民しよの代表という役割です。……

——線部のひらがなを漢字に直し、楷書かいしよでていねいに書きなさい。

(

)

二 アキさんは、『狂言』とは何かと見出しを付けた文章を内容のまとまりで二つに分け、後半のまとまりには分けた内容と合う見出しを付けることにしました。分ける箇所かとして最も適切なものを、(ア)から(オ)までの中から一つ選びなさい。また、後半のまとまりに付ける見出しを考えて書きなさい。

分ける箇所 (

見出し (

)

)

)

2 ナツさんは、国語の時間に、「枕草子」を読みました。次は、その原文の一部です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

……頭かしらは尼あまそぎなるちこの、目に髪かみのおほへるをかきはやらで、うち傾かたむきて物など見たるも、うつくし。(第一四五段)

問 ——線部「おほへる」を現代仮名遣づかいに直し、全てひらがなで書きなさい。

(

)